



(株)東芝 深谷工場 サイトレポート情報	
所在地	埼玉県深谷市幡羅町1-9-2
敷地面積	288,000m ² 、建家面積:104,700m ² 、緑化率:23.2%
設立	1965年4月、従業員:1,230人(2011年3月現在)
主要製品	液晶TV、業務用カメラ、航空機用カラーディスプレイ管
ISO14001認証取得	1997年1月、最新更新年月:2009年1月 (ISO認証番号:EC99J2054)



ごあいさつ

近年、地球温暖化や資源の枯渇等、地球規模での環境問題が重視されています。また、今年の3月に発生した東日本大震災による環境問題は世界に広く影響を及ぼしており、環境への取組みが益々重要となってきています。

当工場は、地球環境の保護を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、生産活動を展開しています。豊かな価値の創造と地球との共生を図り、環境負荷の低減と環境に配慮した生産活動を実践することにより、エコリーディングカンパニーとして持続可能な社会の実現に向けて貢献し、皆様に安心・信頼される企業グループを目指してまいります。



環境保全責任者 宮寺 常夫

2010年度の環境の主な取組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
1997年1月に認証取得、2009年1月に4回目の更新、2010年度の二年次サーベイランスで認証登録継続の判定
- ☆化学物質排出量の削減
化学物質排出量を2008年度比で 32.3%削減
- ☆CO₂排出量の削減
CO₂排出量を2008年度比で 16.9%削減(生産高原単位は2008年度比 33.3%削減)
- ☆廃棄物の削減、ゼロエミッションの継続
廃棄物総発生量が2008年度比で 29.6%増加(生産高原単位は2008年度比 3.5%増加)、最終処分率は 0.03%
- ☆環境調和型製品の開発
製品の消費電力及び製品重量の低減、再生プラスチック使用量の拡大(全て目標達成)
製品開発時のアセスメント実施
- ☆その他の環境配慮活動
取引先に指導・支援(1社)、環境配慮資材の調達(100%)、廃棄物委託先現地確認(9件)

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



環境調和型製品の創出のため、部品、材料、原料などを調達する際には環境に配慮したものを優先的に選択・購入する「グリーン調達」に取り組むとともに、購入部品、材料等に含まれている環境関連物質の含有量の分析・調査を行っています。

環境コミュニケーションの紹介

- ・環境報告書の発行 : 2005年度より毎年発行
- ・地域との交流(参加) : 列島クリーンキャンペーン、環境保全懇談会(深谷工業連絡会)
(主催) : 深谷清掃センター施設見学会
東芝グループサマーフェスティバル in FUKAYA(環境コーナー開設)
- ・自治体等主催行事参画 : 目標設定型排出量取引制度に関する説明会、土壌汚染対策に関する講習会
「エコライフDAY2010埼玉」説明・報告会

株式会社東芝 深谷地区工場 環境方針

東芝深谷地区工場は埼玉県北西部に位置し、荒川、利根川流域の多様な生態系や水と緑に恵まれた豊かな自然環境の立地条件のなかで、映像メディア機器、各種ディスプレイ等の開発設計・製造拠点として、ライフサイクルまでを考慮して製品を社会に提供しています。

当工場は、地球環境問題が人類の生存に重要な課題であることを深く認識し、環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、東芝グループ環境基本方針、ISO14001規格及び東芝が同意した企業行動指針や顧客要求事項に基づいた環境保全活動を推進します。そして、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図り、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指して、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 事業活動、製品、サービスに関わる全ての環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境目的・目標を設定すると共に、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善に全員参加で取り組みます。
2. 環境保全に関する法令、規制、条例及び受入れを決めたその他要求事項を順守するとともに、さらに自主基準を設けて、環境保全レベルの向上を図ります。
3. 映像メディア機器及び液晶パネルの開発設計の中心拠点として、次のとおり環境負荷の低減に配慮した環境調和型製品づくりを推進し、環境性能の優れた製品とサービスを広く世界に提供することにより、地球環境問題の解決に貢献します。
 - (1) 消費電力の低減
 - (2) 再生材使用による資源の有効活用
 - (3) 製品重量軽減等の省資源化
 - (4) 環境関連物質の削減・代替化
4. 事業活動が環境に及ぼす負荷の低減と環境汚染の予防に努めると共に、有益な環境側面についての環境配慮も含めて、次の環境保全活動を推進します。
 - (1) 化学物質排出率の低減及び排出量の削減
 - (2) 省エネ施策の推進と適正な動力供給によるCO₂排出量の削減
 - (3) 廃棄物の削減及び3R活動・有価物拡大
 - (4) 本来業務に直結した部門活動
5. 生物多様性のたくさんの恵みによって私たち人間を含む生き物の「命」と「暮らし」が支えられていることを認識し、生態系の保護や自然との共生に配慮すると共に、地域・社会とのコミュニケーションを密にして協調連帯を図ります。
6. グループ一体となった環境保全活動を推進するため、取引先等に積極的に指導・支援を行います。

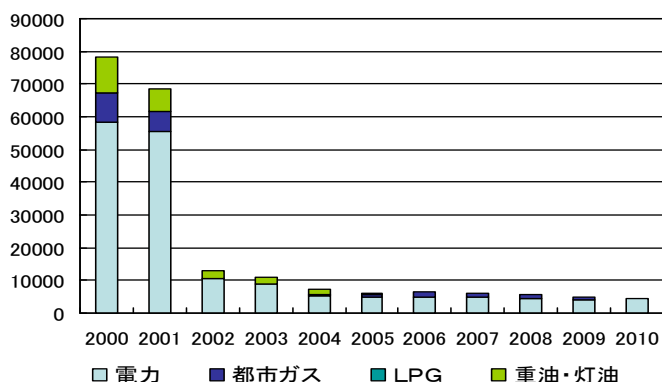
2011年4月1日

株式会社東芝 深谷地区工場 環境保全責任者

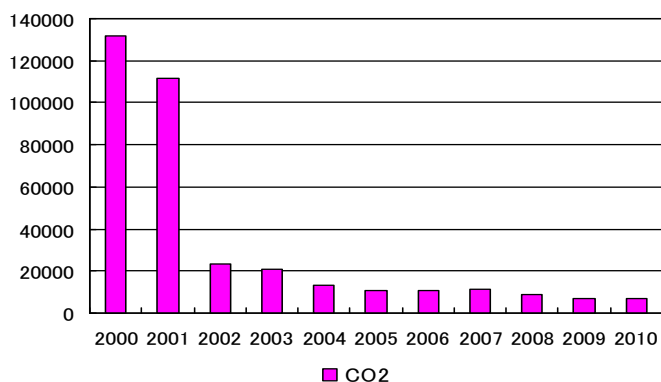
宮寺 常夫

環境負荷データ

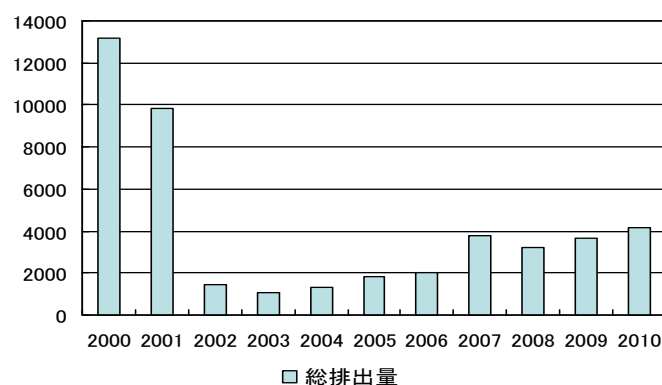
エネルギー使用量(単位:KL)



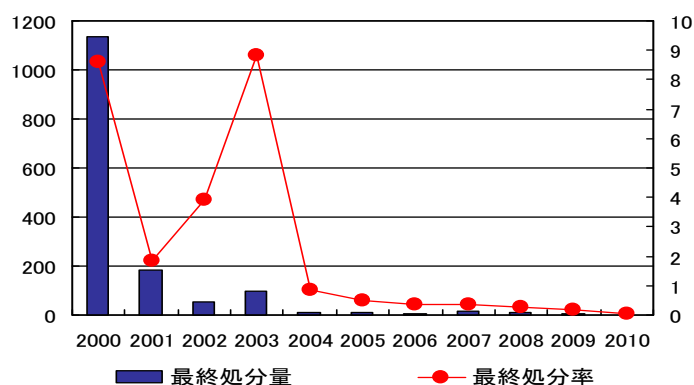
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

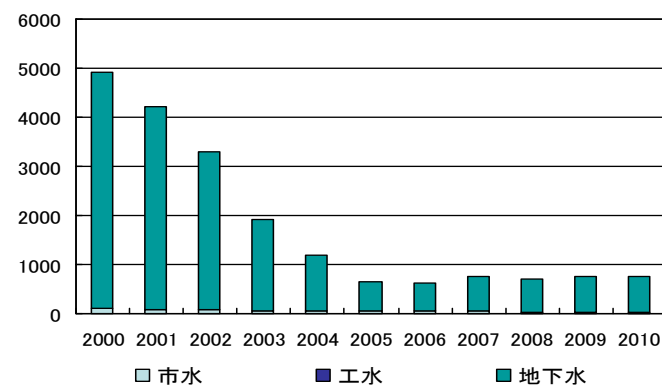


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

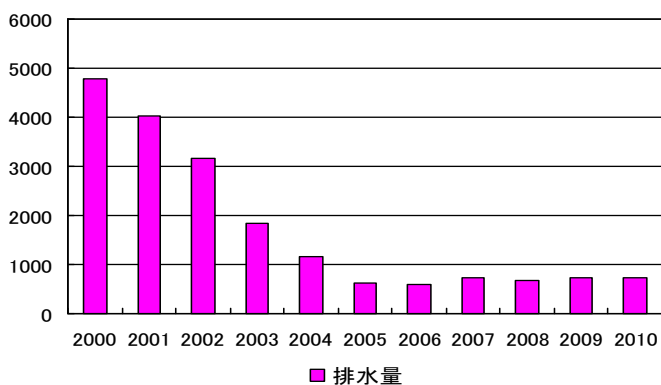


主な廃物名: 廃プラスチック、木屑、紙屑、金属屑、ガラス屑、污泥、廃油等

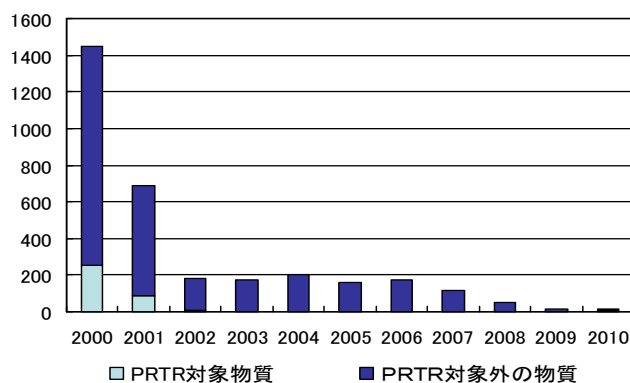
水の使用量(単位:千m³)



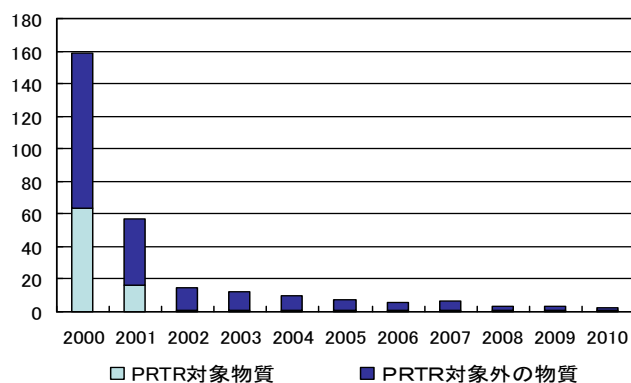
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: トルエン、キシレン、ベンゼン、ふっ化水素、アセトン、鉛化合物、イソプロピルアルコール、塩化水素、硫酸

遵法管理状況

<大気測定結果> 多管式小型貫流ボイラー(都市ガス使用) 4台)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150	50	21~28	年2回
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> 11施設(酸又はアルカリ表面処理施設、排ガス洗浄施設等)、河川(福川~利根川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	6.4~8.1	7.1~7.7	月2回
BOD(mg/ℓ)	25(県条例)	22	1~11	月2回
COD(mg/ℓ)	160	36	2~8	月2回
SS(mg/ℓ)	60(県条例)	31	4~14	月2回
窒素(mg/ℓ)	120	22	9~19	月2回
フッ素(mg/ℓ)	8	5	0.9~2.6	月2回

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:42施設(プレス、空気圧縮機及び送風機)、振動:12施設(プレス、圧縮機)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	70(県条例)	65	59	1回/3年
	敷地境界:夜	65(県条例)	55	55	1回/3年
振動(dB)	敷地境界:昼	65	60	30	1回/3年
	敷地境界:夜	60	55	30	1回/3年

(実測値は2009年度の測定値。次回は2012年度測定予定)

<その他測定結果> (有害物質排水測定:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
鉛(mg/l)	0.1	0.06	<0.01	月2回
六価クロム(mg/l)	0.5	0.1	<0.05	月2回
トリクロエチレン(mg/l)	0.3	—	<0.001	月2回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし